



実績概要報告書

連続性(生まれる前から亡くなるまで) の口腔の健康増進の実証実験

歯っぴー株式会社

世界の
あしたが見えるまち。
TSUKUBA

背景・目的

従来のお口の中の状態を視覚的に確認するために用いる歯垢着色液よりも、簡便に歯垢を確認できる「染め出しライト」を用いた機会提供で、生まれる前から亡くなるまで連続的な気づきを提供による口腔の健康増進と効果を検証し、市民サービスの質の向上、及び口腔の健康増進からの社会保障(医療費)の削減を目指す。



慶応義塾大学医学部内科教授・伊藤裕氏提唱
このドミノの最上流、予防医療に歯科医療が直接関与できる

- ① 歯科による食育は肥満の予防となる。
- ② むし歯・歯周病は食生活や衛生習慣など生活習慣乱れが始まり。
- ③ **口腔内細菌は、さまざまな感染症や生活習慣病に関わっている。**
呼吸器疾患や心臓病、糖尿病、早産など全身の健康と深いつながりがあることが、研究機関で明らかにされている。

実施内容

①市職員モニター調査

- (1)実施期間：2022年7月11日～9月2日
- (2)使用場所：ご自宅など
- (3)支援内容：フィールド調整、アンケート収集



職員 延べ92人



家族 延べ66人



②つくば歯科医師会全数調査

- (1)実施期間：2022年11月～2023年3月
- (2)使用場所：クリニックなど
- (3)支援内容：歯科医師会との全数調査調整など



(出典)：なるほど統計学園(https://www.stat.go.jp/naruhodo/7_shurui/zensu.html)

実験結果

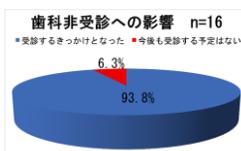
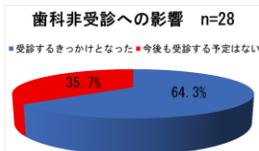
①市職員モニター調査(一部抜粋)

市職員自身

定期的に歯科受診を受けてない方の64.3%へ歯科受診のきっかけを提供

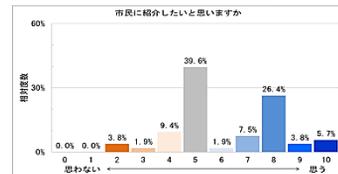
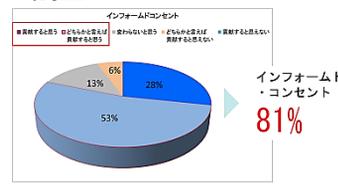
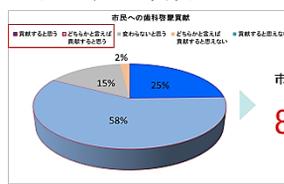
市職員のご家族等

定期的に歯科受診を受けてない方の93.8%へ歯科受診のきっかけを提供



②つくば歯科医師会全数調査(一部抜粋)

以下、4項目のアンケート調査



令和3年度 Society5.0事業含め、2023年3月12日茨城県歯科医学会にて報告
社会実装に向けた課題等

スイーツスポットの探索

これまで、漠然とした調査であるため、市民向け及び歯科医療向けのスイーツスポットを探索し、自社の強みを最大限に活かせる領域を見つけ、注力する分野においての日本標準を目指す。

市からのコメント

Society5.0事業に引き続き、実証実験として、様々なシーンでライトを用いた調査を行いました。今後は調査だけではなく、このライトが広く普及することを期待します。